

震災がれき処理、協力を

岩手県 知事、県議会に要請

岩手県議会の佐々木博議長ら五人が十五日、三重県庁と県議会を訪ね、鈴木英敬知事や山本教和議長らと面談。東日本大震災で発生したがれきの広域処理への協力を要請した。

鈴木知事との面会で、佐々木議長は「ご支援をいただきながら、懸命に復旧・復興に取り組んでいるが、一番大きな障害ががれき」

と訴え、広域処理への協力を求めた。鈴木知事は少量であっても一日も早くがれき処理が進むよう、全力で取り組むと力を込めた。

県議会では、山本議長が「皆さんの期待に添えるような結果になれば、と期待している」と応じた。佐々木議長は「県議会は県と市町をつなぐパイプ」とし、県と市町の仲介役として機

能してほしいとした。

報道陣の取材に応じた佐々木議長は、「積極的な取り組みをしていただいております、大変ありがたく思う」と県の対応に謝意を示した。また「放射能の問題も、現実にはほとんどない」と安全性を強調し、「実態をご理解いただき、一人でも多くの住民に支援をいただきたい」と呼び掛

けた。



けた。
がれき処理推進のため、

岩手県議会は昨年三月末から各道府県への要請活動を
実施している。十六日には
愛知県を訪問の予定。

●鈴木知事（手前左）に要請文を手渡す佐々木議長（右から2人目）ら＝県庁で●山本議長（中央）らにがれき処理への協力を求める佐々木議長（左から2人目）＝県議会議事堂で